

平成28年度

事務事業評価表 A（平成27年度の実績評価）

記入年月日
平成 28 年 3 月 29 日

事務事業名		道路台帳加除業務委託事業					事業区分			担当	
政策体系		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	040602000366	
総合計画の施策名		0406	道路整備と交通網の充実			単独/補助	単独	所属課	060101		
政策名		04	快適で潤いのある生活環境づくり			主要事業	対象外		建設課		
施策名		06	道路整備と交通網の充実			市長マニフェスト	対象外				
基本事業名		02	市道の整備			未来PJ事業	対象外	グループ	維持管理G		
合併建設計画事業							合併建設計画事業	対象外			
財務会計上の位置付け						事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業細	一般会計					
	01	08	02	01	01 00	道路橋梁総務事業					
法令根拠						単年度繰返し（年度～）					
道路法						☞ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入					

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要（事務事業の全体像） 道路管理者がその管理事務を円滑に遂行するため、道路の区域はもちろん道路の構造等道路管理上の基礎的事項を把握しておく必要があり、このため道路管理者はその管理する道路の台帳を調整し、保管を行っている。 前年度の市道整備や用途廃止に伴い、道路の廃止・認定・区域決定・区域変更及び供用開始の手続き、その延長・幅員・舗装等の形態等について、道路台帳（調書、図面）の補正を行う。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 市道整備等により道路幅員等が変更となった箇所について精査し、委託業務を行う。
手段	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・市道整備等により道路幅員等が変更となった箇所について精査 ・業務委託契約 ・認定廃止等の手続き	補正路線数	路線	52.00	48.00	40.00	40.00	40.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
道路台帳	補正前未桜川市道路路線数	路線	6,421.00	6,418.00	6,411.00	6,408.00	6,405.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
最新の情報への更新	補正後桜川市道路路線数	路線	6,418.00	6,411.00	6,408.00	6,405.00	6,402.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,484	4,806	3,888	4,000	4,000
	事業費計(A)		千円	2,484	4,806	3,888	4,000	4,000
量	人件費	正規職員従事人数	人	0.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人
		述べ業務時間	時間	100.00	37.00	50.00	50.00	50.00
		人件費計(B)	千円	290	107	145	145	145
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,774	4,913	4,033	4,145	4,145	

		27年度事業費 実績（千円）			28年度事業費 予算（千円）		
事業費の内訳	13 委託料	4,806		13 委託料	3,888		
	合計	4,806		合計	3,888		

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する		28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 	➡			

事務事業名	道路台帳加除業務委託事業	事務事業No.	40602000366	所属課	建設課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
道路法第28条により、道路管理者は管理する道路台帳の調整やその保管が義務付けられている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
道路補正するにあたり台帳等に反映するのが1年のタイムラグがあり、それについてのさらなる向上を求められることがある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	正確な情報を公共、民間問わず提供し、結果的に安全で快適な環境づくりにつながる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市が管理する道路(認定道路)の情報であり、管理者である市が行うのは当然である。また、道路形状の変化についての情報も管理者が把握するなどの点からも市が行うべきである。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	認定された路線は台帳等に情報を反映させるのがのぞまれる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	認定された路線は即台帳等に情報を反映させるのがのぞまれる為、台帳補正が困難となり業務に支障が生じる。
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 (類似事業や統合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	統合の余地はない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	平成25年度に旧町村毎の道路台帳を統合し、その結果削減となった。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	成果(道路台帳等)は、市民等の様々な生活、手続きに役立っており公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	道路台帳がデジタル化したことにより効率的に道路台帳の運用ができています。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果																								
コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>